

れんごう中越地協

第1161号2024.4.5
連合中越地域協議会
長岡市愛宕3-7-24
TEL 0258-86-0111
FAX 0258-86-0884
発行人 矢島 良彦
http://tyuuetu.net/

定価 1部10円
購読料は会費を含む



連合新潟中小・地場総決起集会を開催 春闘を最後まで粘り強く闘い抜こう

3月30日(土)午後1時30分から連合「新潟春季生活闘争勝利!中小・地場総決起集会」がニューオータニ二長岡NCホールで開催されました。

この集会は、これから春闘交渉の山場を迎える中小・地場の組合を支援する目的で開催されたもので、全県から約230人の組合員が参加しました。

集会では、司会を中越地協野田副議長、アピール提案を権頭SJネット委員会委員長、シユプレヒコールを渡辺副議長、

団結カンパロウを矢島議長が担ったほか、受付、会場誘導、デモ行進の先導、警護など集会運営の中核を中越地協幹事会役員が担いました。

林俊夫闘争委員長(会長)は「持続的な賃上げの流れを確実にするために、最後まで粘り強い交渉と支援が重要」と訴えかけました。

その後、JAM、私鉄総連、日教組から決意表明を受け、「すべての働く仲間の生活向上につながる賃上げをめざし、春闘を最後まで粘り強く闘い抜く」とした集合アピールを採択しました。最後に中越地協矢島議長の団結カンパロウで集会を閉めました。

集会後は、デモ行進を行いました。会場のNCホールを出発し、袋町カード、スズラン通り、大手通を通り、長岡駅大手口までデモ行進しました。

デモ行進では、格差是正労働者への適正分配を求め、

春闘総決起集会を各地区で開催

春闘山場に向けて意思統一

春季生活闘争の取り組みとして、2月29日の県中央総決起集会を皮切りに県内各地区で開催されました。中越地協でも3月1日から22日までの間、各地区で開催されました。

争勝利長岡地区総決起集会を長岡市立劇場小ホールで開催しました。

集会には長岡市内の組合員約110人が参加しました。

集会は野田副議長の司会で進行。矢島議長は開会にあたり、「昨年に続き生活・物価高騰に対し、断固として賃上げ勝ち取り



春季生活闘争中の闘争支援の一つとして、3月14日(木)に連合新潟小林会長による意見交換訪問が行われました。

中越地協からは五十嵐副議長が同行して、岩塚製菓労組、立川メデイカルセンター労組、日本精機労組、倉敷機械労組、日赤労組、越後交通労組を訪問して意見交換を行いました。

意見交換では、要求状況、会社との協議状況、価格転嫁の実態、人財確保、その他労働条件の改

また、中越地協では地協4役による、民間労組激励訪問行動も行っていました。

連合新潟小林会長 春闘意見交換訪問

春闘意見交換訪問

善など、加盟組合それぞれを取り巻く環境を聞かせたいだくとも、連合新潟への要望なども聞き、意見交換してきまし

「私たちはいま、人間と自然とを貪り食う『強盗文化』の時代に生きている。この『強盗文化』が目指す目標を転換しなければ、水色の惑星である地球とともに耐えがたいものになってしま

事務局長 横澤勝之

あたご3 <<No96>>



いくことによる共同意思決定が実現していくこと」という地域での協働による下からの積み上げが社会を変える力になるとしています。この本を読むと20年前に連合評価委員会の中で「市民的参画と社会変革のためのネットワークを連合が中心となり作り上げることが必要」と提言されていたことが必要」と提言されたのは、実践できていないことの罪深さがよく分かります。この本の最後は「私たちは終末的破局を恐怖してはならない。恐怖すべきは『人間を人間として充実させる』希望のビジョンを描く意欲を阻害してしまうことである」として「希望を胸に、意思の楽観主義にもとづいた努力を重ねることが、『根源的危機の時代』に生を受けた私たちの責任なのである。」と結ばれています。30年ぶりの大幅賃上げで、「ステージを変える」一歩を踏み出しました。ここからです。

SJネット委員会

第4回委員会を開催

SJネット委員会は、第4回委員会を3月16日(金)18時30分から地協事務所で開催しました。

委員会は、4月20日に小千谷市の「そなえ館」で開催を予定している、



みんなで賃上げ。ステージを変えよう!



春闘総決起集会の開催状況

- 長岡地区総決起集会 3月6日(水) 18:00~長岡市立劇場小ホール見附地区総決起集会 3月1日(金) 18:30~中央公民館
- 小千谷地区総決起集会 3月7日(木) 18:30~小千谷市民会館
- 北魚沼地区総決起集会 3月8日(金) 18:15~小出ボランティアセンター
- 南魚沼地区総決起集会 3月8日(金) 18:30~ふれ愛支援センター
- 十日町地区労決起集会 3月22日(金) 18:30~サンクロス十日町



能登半島地震の連合新潟としての対応にふれた後、連合新潟の春季生活闘争方針と直近の賃上げ要求集計などについて説明し、「春季生活闘争で賃上げをはじめとする要求を勝ち取るには団結が必要、団結なくして権利なし」と力強く訴えかけました。

後半は、渡辺副議長が集会アピールを提案し、五十嵐副議長の閉会あいさつの後、矢島議長の団結カンパロウでヤマ場に向けて決意を固めあいました。

ユニオンパワーアップセミナー

連合中越SJネット委員会 学習会「防災について学ぼう」
開催日時 4月20日(土) 10:00~12:00
会場 おちや震災ミュージアム 所なえ館 (小千谷市上ノ山4丁目4-2)
内容 防災について学ぶ
バスで移動します。
集合場所 長岡駅東口 越後交通ゴールデンツアー発着所

第95回メーデー開催予定

| 地区 | 開催日時 | 会場 |
|-----|---------------|--------------|
| 長岡 | 5月1日(水)9:45 | 長岡市立劇場大ホール |
| 見附 | 5月1日(水)18:00 | アルカディア小ホール |
| 小千谷 | 4月28日(日)10:00 | 小千谷市民会館 |
| 北魚沼 | 4月27日(土)10:00 | 小出ボランティアセンター |
| 南魚沼 | 4月27日(土)9:30 | 南魚沼市民会館 |
| 十日町 | 4月27日(土)9:30 | クロステン十日町 |



第6回地協幹事会では、矢島議長は開会のあいさつで、春闘に関連し「これまでの連合新潟の集計結果を見ると高い水準での妥結が多い。夜明けが来た感じがするが、中小の賃上げは未だ。来年以降の賃上げにつながるためには、これからの中小・

第6回地協幹事会と第95回長岡地区メーデー実行委員会が、3月30日(土)午前10時からニューオータニ二長岡で開催されました。前段の地協幹事会では、各地区メーデー大会や当面の諸課題を協議決定しました。引き続きのメーデー実行委員会では、各集団長と副集団長、救護班及び地協幹事会役員の任務等を確認しました。

地場の交渉やその後の公務員組合関係の取り組みが重要になってくる。そのためにも今日の午後の中小・地場総決起集会の取り組みは重要」等と述べました。

幹事会では、前回3月6日以降の春季生活闘争関連をはじめとした主要日程や各支部の取り組みが報告され、承認しました。

引き続き開催された長岡地区メーデー実行委員会では、矢島実行委員長(中越地協議長)の開会あいさつで、「今年、ウイルス禍前と同じ体制で開催したい。家族を含めて多くの参加を募ってほしい。いっしょにメーデーを作り盛り上げたい」と述べました。

その後、長岡地区メーデー実施資料(案)に基づき実施内容を確認しました。

まず、全県統一テーマ「震災からの復興と、すべての働く仲間の賃上げを実現しよう」とをメインスローガン「連帯の力で平和と人権を守り誰もが安心して暮らせる新たなステージへ!被災地の復旧・復興に向けてみんなで支え合い・助け合おう!」を確認しました。

各単組からの報告では若年層だけでなく、高齢層を含めた全体的な賃上げの必要性や、地域外への労働人口の流出、能登半島地震での36協定に関する時間外対応の状況などについて意見を交わしました。少人数での開催となりましたが、春闘のヤマ場に向け結束を図ることができました。

3月8日に魚沼市小出ボランティアセンターで春闘総決起集会を開催しました。中越地協からは野田副議長よりお話しいただき、中越地域における新卒採用での労働者確保の取組みなどお話しいただきました。

「震災からの復興と、すべての働く仲間の賃上げを実現しよう」とをメインスローガン「連帯の力で平和と人権を守り誰もが安心して暮らせる新たなステージへ!被災地の復旧・復興に向けてみんなで支え合い・助け合おう!」を確認しました。

引き続き開催された長岡地区メーデー実行委員会では、矢島実行委員長(中越地協議長)の開会あいさつで、「今年、ウイルス禍前と同じ体制で開催したい。家族を含めて多くの参加を募ってほしい。いっしょにメーデーを作り盛り上げたい」と述べました。

長岡地区メーデー実行委員会と第6回地協幹事会を開催

実施内容について次の内容を決定しました。

◆メーデー会場の準備は、当日午前8時から幹事会・SJTネット委員会と動員者で行う。◆メーデー当日(1日)は、8時40分に市内3箇所(A集団南町公園・B集団防犯公園・C集団幸町公園)からデモ行進で長岡市立劇場大ホールに集結する。◆大会開会は9時45分とする。◆記念講演は、山口達也さんで、演題は「人生をあきらめない」。◆地域貢献事業は、能登半島地震の被災地支援を行っている「チーム中越」と30周年を迎える「平和の森コンサート実行委員会」に寄贈する。

また、今年もフードバンクがおかと連携した「フードドライブ」を、各集団集合場所と大ホール入口で食品を受け入れること。恒例のプラカードコンクールを行うこと等も決定しました。あわせて、能登半島地震被災地支援募金活動を行うこと等も決定しました。

引き続き開催された長岡地区メーデー実行委員会では、矢島実行委員長(中越地協議長)の開会あいさつで、「今年、ウイルス禍前と同じ体制で開催したい。家族を含めて多くの参加を募ってほしい。いっしょにメーデーを作り盛り上げたい」と述べました。

その後、長岡地区メーデー実施資料(案)に基づき実施内容を確認しました。

まず、全県統一テーマ「震災からの復興と、すべての働く仲間の賃上げを実現しよう」とをメインスローガン「連帯の力で平和と人権を守り誰もが安心して暮らせる新たなステージへ!被災地の復旧・復興に向けてみんなで支え合い・助け合おう!」を確認しました。

引き続き開催された長岡地区メーデー実行委員会では、矢島実行委員長(中越地協議長)の開会あいさつで、「今年、ウイルス禍前と同じ体制で開催したい。家族を含めて多くの参加を募ってほしい。いっしょにメーデーを作り盛り上げたい」と述べました。

引き続き開催された長岡地区メーデー実行委員会では、矢島実行委員長(中越地協議長)の開会あいさつで、「今年、ウイルス禍前と同じ体制で開催したい。家族を含めて多くの参加を募ってほしい。いっしょにメーデーを作り盛り上げたい」と述べました。

引き続き開催された長岡地区メーデー実行委員会では、矢島実行委員長(中越地協議長)の開会あいさつで、「今年、ウイルス禍前と同じ体制で開催したい。家族を含めて多くの参加を募ってほしい。いっしょにメーデーを作り盛り上げたい」と述べました。

北魚沼支部だより

3月8日に魚沼市小出ボランティアセンターで春闘総決起集会を開催しました。中越地協からは野田副議長よりお話しいただき、中越地域における新卒採用での労働者確保の取組みなどお話しいただきました。

各単組からの報告では若年層だけでなく、高齢層を含めた全体的な賃上げの必要性や、地域外への労働人口の流出、能登半島地震での36協定に関する時間外対応の状況などについて意見を交わしました。少人数での開催となりましたが、春闘のヤマ場に向け結束を図ることができました。



ながおかワーク&ライフセミナー開催報告その2

2024ながおかワーク&ライフセミナーが2月20日の第5講座まで開催されました。紙面の関係上、前号に掲載できなかった第4講座と第5講座の報告を掲載します。

第4講座「性暴力・性虐待を許さない社会をつくるためのワークショップ」

2月26日(月)、長岡市のまちなかキャンパスで、第4講座「性暴力・性虐待を許さない社会をつくるためのワークショップ」が開催されました。

主催はNPO法人「女のスペース・ながおか」で、24人が参加しました。女のスペース・ながおかの会長荻野さんは、「スペース」が開設後25

年を経て、年間約1500件の相談がある中で、性暴力や性虐待の問題が多いことを報告しました。

連合中越×NPO法人UNE 福祉市民体験農園

OasisR 野菜の作付けイベント

4月20日(土) OasisR開園式

スケジュール

- 8:45 受付開始
- 9:00 開会式 (集合場所) 千秋ふるさとの森管理棟前 土手のゴミを拾いながら現地へ
- 9:30 玉ねぎ管理作業やジャガイモ植え (休憩)
- 10:40 共有畑の作業
- 12:00 お昼 名物 豚肉の串焼とおにぎり
- 12:30 午前の部解散 (若干延長もあり) ~午後も参加希望の人~
- 13:30 秘密基地づくり (希望者のみ)

※実行委員会前ですが日程上からのご案内です。 ※締め切りは、4月15日までに連合中越地協へお願いします。

「子ども・人権ネット・CAP」にいがた」から講演が行われた。

CAPは、子どもの人権を守るためのプログラムで、1978年にアメリカで始まり、85年に日本に導入されました。CAPでは、「安心」「自信」「自由」という子どもたちの権利について学び、自分を守る力を養うことを目指しています。

3月2日(土)、ハイブ長岡会議室で、「知的障害・発達障害に由来する感覚や気持ちを疑似体験してみませんか?」が開催されました。

主催は「ゆいジョブながおか」。開会のあいさつの後、障がい者代表や、障がい者支援施設で働く松村さんが自己紹介。その後、障がい者の気持ちを体験するコーナーが設けられ、参加者は障がい者の気持ちを理解するために、さまざまな体験を行いました。

講演では、パン屋を営む工藤代表や、障がい者支援施設で働く松村さんが自己紹介。その後、障がい者の気持ちを体験するコーナーが設けられ、参加者は障がい者の気持ちを理解するために、さまざまな体験を行いました。

このセミナーを通じて、参加者は障がい者とのコミュニケーションや配慮の在り方について学び、より理解を深めることができました。

障がい者との接し方や配慮の重要性を学ぶ中で、あいまいな表現を避け、具体的な説明や確認をすることの重要性が浮き彫りとなりました。